

質問議員のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧ください▶



南海トラフ地震臨時情報発令

淡路クラブ
嶋 光彦

問 8月8日、南海トラフ地震臨時情報を気象庁が発令した。初めての試みで各自治体も対応に苦慮した。海水浴場を閉鎖する自治体。淡路市は危機管理部を中心に24時間体制で情報の収集・非常品の点検にあたった。期間は一週間でした。マグニチュード8～9クラスの地震が30年以内に70～80%の確率で発生するとも言われている。地震学者のロバート・ゲラ氏は地

震はいつどこで起こるかわからない。防災意識の高揚も必要。

答 災害本部を立ちあげ
情報収集

淡路市は情報収集するとともに常に市長と連絡を密にしました。津波は最短2～3分で静岡・高知に到達する予想で、南あわじ市30分で8.1m、洲本5.3m、淡路3.1mと予想し対応を図



南海トラフ地震の想定区域（気象庁HPより）

りました。巨大地震警戒や緊急地震情報が発表されたらまず身を守る方法を考える“備えあれば憂いなし”の精神です。



AED三角巾配備の進捗は

公明党
西村 秀一

問 AED使用時に女性の胸部を覆ってプライバシーを保護する目的で使用するほか、止血や患部の固定にも活用できる三角巾を市内公共施設に設置されているAEDに配備すべきと問わせていただいたが、現在の進捗状況を問う。

答 配備に向けて進めていきます

全国的に自治体においても、AEDボックス内に三角巾配備事例が増

えてきています。配備する三角巾も、各自治体により色や仕様が様々であり、また、三角巾身体を簡単に覆う事ができ、使用方法などが記載された専用シート等も商品化されています。本市では、このような状況を踏まえ、仕様や価格比較を行い、三角巾の配備に向けて、具体的な検討を進めてまいります。

その他の質問

- コメや水不足、価格高騰について
- 水道水PFAS全国調査について
- AED講習の継続



AED配備の三角巾



南海トラフ巨大地震への備えは

住民目線の会
嶋下 博史

問 巨大地震が起きた場合、市が管理運営する体育館等の避難所へ避難することになるが、体育館等の空調設備は、どのようになっているのか。又トイレカーの配備についての市の認識は。

答 具体的な計画を
検討していきます

本市には小学校11校、中学校5校があり、全ての体育館の空調を

整備することは難しい状況ですが、今後、段階的に必要な調査を行い、事業の手法、空調機種、事業財源等について、関係部署と協議して、具体的な計画を検討していきたいと考えています。トイレカーが避難所運営に大きな役割を果たしていますが、配備については、課題もあり、他市の事例を参考にしながら検討していきます。

その他の質問

- 今年の淡路市夏まつりの検証について



自走式水洗トイレカー

- 本市の公益通報制度は
- 町内会助成金の増額について



よく聞く民泊問題の対処法は

淡路クラブ
古山 久則

問 民泊のクレーム対応で、最後には警察が出動していると聞かすが、それ以外の方法は。

答 住民と利用者の
共存を保ちます

連合町内会長が周辺住民の安全、安心な生活環境維持の為、県に対し要望を行ったり、一部町内会では意見交換会を開催し、事業者と独自ルールを設けた合意書を締結

し、良好な関係を保っている事例もあります。一部の施設で発生している問題については、マナーの悪い利用者や、問題解決に前向きでない事業者が原因ではないかと考えて居りますが、その改善に向けて、今後も洲本健康福祉事務所、淡路警察署など関係機関と連携を図りながら、地域住民と事業者、利用者が良好に共存、共栄できる関係を保てるよう努めるとともに、地域における市民の生活環境が維持できるよう適切に取り組んでいきたいと考えています。



兵庫県監修「民泊の手引き」



市バス南進ルート変更の可能性は

住民目線の会
村田 沙織

問 今回の市バス南進は市民の利便性向上になると考える。しかし下司・里地区の方は民間の路線バスが無くなったため、大変不便を感じている。今後、国道ではなく下司・里地区を通るルートに変更する計画はあるか。

答 交通弱者対応としてあわ神あわ姫バスを始めました。バス停の設置など国の許可制度がありますので、地元と一緒にやってい

くことが重要です。今後も丁寧に説明をしながら全体の公共福祉につながるようにしていきます。

問 地元町内会からは要望が出ているが、どのように考えているか。

答 運行開始後に
判断していきます

地元町内会からは要望をいただいています。10月の運行開始後の利用状況や意見を聞きながら、総合的に判断してまいります。

その他の質問

- 新規就農者への対応
- レプリコンワクチンの緊急声明



淡路市内の公共交通空白地域



Live119は期待が膨らむ

結いの会
長瀬 雅宏

問 Live119の映像による効果と助かる命の可能性は。

答 これは、119番通報者のスマートフォンを活用して、火災や交通事故の状況の映像をリアルタイムで情報司令室に送信するシステムです。映像を活用する事で、通報者は現場の詳細を消防へ明確に伝えられることができます。救急時は、重症度を迅速に把握し適切な指示を出すことができるため、救急隊が

現場に到着するまでに処置方針を決定できるため、助かる命の可能性の向上が期待されます。

問 訓練にLive119の講習を取入れてはどうか。

答 次年度以降の訓練に
取入れを検討

現在、淡路広域消防事務組合では導入準備中で、貴重なツールとして認識しているところであり、今後は調整を図りながら検討していきたいと考えています。



Live119（㈱ドーン提供）